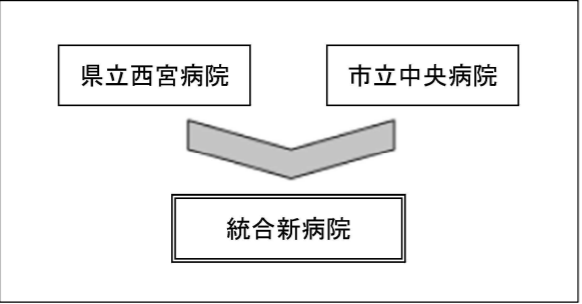
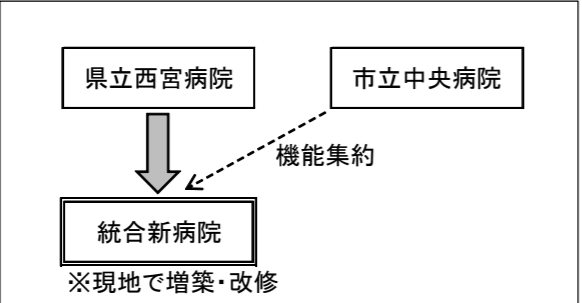
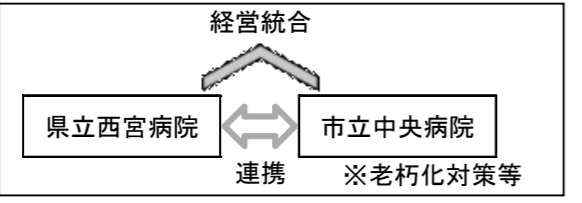
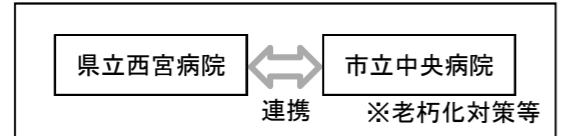


区分	今後のあり方	メリット	デメリット・課題	実施に当たっての留意事項
統合再編	<p>案1</p> <p>両病院を統合し、新用地に新病院を整備する。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○診療体制の充実や症例数の増加、施設・設備の充実等により、勤務環境の魅力が向上し、若手医師等、医療従事者の集積が期待できる。</li> <li>○両病院が抱える様々な課題（防災性能や診療機能の確保等）に即時的に対応することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新病院整備費の財源を捻出する必要がある。（両病院の施設等の売却）</li> <li>○新病院の整備に当たっては、適切な整備地を選定する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○民間医療機関との役割分担、連携など統合による周辺医療機関への影響を考慮した計画とする必要がある。（2次救急のバックアップと重症救急患者の積極的受入）</li> <li>○医師等、医療従事者にとっても魅力のある病院である必要がある。（専門医研修・先進医療・臨床研究機能の充実等）</li> </ul>
	<p>案2</p> <p>市立中央病院の機能を県立西宮病院に集約した統合新病院を設置する。 ※県立西宮病院は増築・改修工事を実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合的な診療機能を生かした高度専門・特殊医療の提供が可能となる。</li> <li>○高齢化に伴い増加する救急医療や将来不足が予想される高度急性期医療への対応など地域の医療ニーズに対応できる医療機能を確保でき、医療環境の向上に大きく貢献できる。</li> <li>○両病院を存続させる場合と比較し、県市トータルでの運営コストが安くなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○両病院の機能集約にかかる増改築が必要な上、近い将来に再度の建替が必要となり、長期的なコストが大きい。</li> <li>○当面の間、防災面や診療機能での課題が残る。</li> <li>○県立西宮病院は、敷地が狭隘で増築にも限界あり、また、手狭になった建物内に、必要な機能の全てを集約できるのか懸念がある。</li> <li>○長期に亘る増築・改修工事期間中に診療機能を制限する必要があり患者数の減少が見込まれる。</li> <li>○医師等、医療従事者にとって、勤務環境の大幅な魅力の向上にはつながらない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○統合再編を進めるに当たって、経営主体・形態、整備場所、整備費・運営費の負担方法、統合後の跡地利用等の解決すべき課題について、県市において調整を図っていく必要がある。</li> <li>○地域医療構想で示される病床機能（高度急性期、急性期等）ごとの必要病床数を踏まえる必要がある。</li> <li>○阪神北医療圏域との連携を十分に考慮し、高度急性期を担う公立病院の役割を果たしていくことが求められる。</li> </ul>
経営統合	<p>案3</p> <p>両病院は経営を統合した上で存続（併存）し、機能分担と連携を行う。</p>  <p>※市立中央病院は老朽化対策による長寿命化を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○両病院の診療機能を抜本的に見直して役割分担と連携を図ることで、地域の医療ニーズに一定の対応ができる。（高度急性期病院と回復期病院など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○両病院の運営にかかる費用、投資がかさみ、経営に非効率な面がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経営統合を進めるに当たって、経営主体・形態、運営費の負担方法、診療機能の分担等の解決すべき課題について、県市において調整を図っていく必要がある。</li> </ul>
連携	<p>案4</p> <p>両病院は診療機能の見直しを行った上で、存続（併存）し、役割分担と連携の一層の推進を行う。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今後約20年程度利用が可能な県立西宮病院（本館）を有効活用することができる。</li> <li>○両病院で実施している診療機能の集約により効率化を図ることができる。（産科・脳神経外科・呼吸器内科等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現在の課題に対して即時的な対応ができない（防災面・診療機能等、案2と同じ）</li> <li>○医師等、医療従事者にとって、勤務環境の魅力の向上につながりにくい。</li> <li>○市立中央病院の長寿命化には限界がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○民間医療機関との役割分担、連携など、周辺医療機関への影響を考慮して、診療機能の見直しを進める必要がある。</li> <li>○阪神北医療圏域との連携を十分に考慮し、公立病院の役割を果たしていくことが求められる。</li> </ul>